

第 48 期 報 告 書

平成21年度〔平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで〕

事 業 報 告 書
貸 借 対 照 表
正味財産増減計算書
(事業費明細書)
財 産 目 録

財団法人 明治安田厚生事業団

東京都新宿区西新宿一丁目8番3号

平成21年度業務概況

I 全般的概況

平成21年度は、明治安田生命グループの社会貢献活動の一翼を担い、以下の活動を展開した。

研究関連業務では、「運動を活用した心身の健康増進に関する研究（コアスタディ）」に関連する各研究課題を推進した。基礎研究としては、一過性運動後の脳活動の検討ならびに精神疾患患者を対象としたトレーニング効果検証を実施した。実践研究では、未成年者の親子運動プログラムの開発および運動と気分との関係の検討、勤労者の職業性ストレス・運動・抑うつ・生活習慣病リスクの相互関連性の検討、高齢者の睡眠改善のための低強度運動プログラムの効果を検証した。これらの研究活動により、年間を通しての学会発表、論文、報告書数は51題を数えた。

研究助成は、第26回健康医科学研究助成を実施し、136件の応募の中から15件に対して助成金を贈呈した。また、第25回論文集を刊行し、優秀賞1件を選定した。

ウェルネス・サポート・コンサルタント業務では、健康づくりプログラムの開発と実践的な指導・支援を推進した。とくに、当健診センターの人間ドック受診者を対象とした「健康支援室」を設置し、本格稼動した。さらに健康支援室での推奨プログラムとして「生活チェック」ならびに「生活改善サポート」を新規に開発し、多くの参加者を得た。これらは、人間ドック受診時に健康づくりの意識を高めることをねらいとするものであり、「健診から始める健康づくり」を具現化したものである。

総合健診業務は、新規健保の開拓、委託会社との新規契約等をすすめ、健診受診者数はほぼ前年並みとなった。とくに増加する女性受診者のニーズに対応するため、女性受診日を年間で5日増加させ混雑緩和を図るとともに、マンモグラフィを1台増設し、乳房検診の態勢を強化・充実させた。また、個別健保からの要請に応じて特定健診も実施し、特定保健指導についても態勢整備をすすめた。さらに、職員のホスピタリティ（おもてなしの心）向上により気持のよいサービスの提供に努めた。

Ⅱ 業務別事業概要

〔研究関連業務〕

平成21年度に実施した主要研究項目および活動は以下のとおりである。

1. コアスタディ「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」

ア. 運動が脳機能および精神疾患の改善に及ぼす効果に関する研究

イ. 職業性ストレス、運動、生活習慣病リスクの相互関係に関する調査研究

ウ. 高齢者のうつ予防および睡眠改善を狙いとした運動介入効果に関する研究

エ. 親子で実施する運動プログラムが子どもの心身の健康増進に及ぼす効果に関する研究

オ. 青年期におけるメンタルヘルスと運動との関係

2. 研究室別研究

ア. 運動生理学研究室において実施した研究

(1) 姿勢制御機構に関する研究

(2) 親子の運動習慣に関する研究

イ. 運動生化学研究室において実施した研究

(1) 運動による唾液中ストレスマーカー変動に関する研究

(2) 運動と脳構造の関係に関する研究

ウ. 運動疫学研究室において実施した研究

(1) 住民ボランティア活動がソーシャルキャピタルに及ぼす影響に関する研究

(2) 運動トレーニングと自己効力感との関係に関する研究

3. 外部機関との共同研究

ア. 科学研究費補助金に基づく研究

・高齢者における軽症うつ病に及ぼす運動効果について検討した。

・高齢者の身体活動・外出・社会参加に影響する環境要因を検討した。

4. 学会・研究会活動

ア. 研究発表

- ・コアスタディ：13題
- ・研究室別研究：22題
- ・健診、フィットネス研究：2題

(1) 国内学会（合計25題）

- ・日本体力医学会：9題
- ・日本体育学会：1題
- ・日本公衆衛生学会：7題
- ・日本体力医学会 東北地方会：1題
- ・日本健康教育学会：1題
- ・日本産業衛生学会：2題
- ・産業保健研究会：1題
- ・日本健康支援学会 運動疫学研究会合同学術集会：2題
- ・神経・内分泌系から運動の意義を考える会：1題

(2) 国際学会（合計12題）

- ・ Society of Behavioral Medicine 30th Annual Meeting & Scientific Sessions
：1題（Canada）
- ・ ISPGR XIX Satellite Pre-Conference Basic Mechanisms Underlying Balance
Control under Static and Dynamic Conditions：1題（Italy）
- ・ ISPGR 2009 The XIX Conference of the International Society for Posture &
Gait Research：1題（Italy）
- ・ Conference on Central Obesity Control and Prevention in China：1題（China）
- ・ The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education
：3題（Japan）
- ・ 2009 Australian Conference of Science and Medicine in Sport：1題（Australia）
- ・ The 19th International Congress of nutrition：1題（Thailand）
- ・ 国際疫学会西太平洋地域学術会議 兼 第20回日本疫学会学術総会：3題（Japan）

イ. 論文・報告書などの出版

- ・コアスタディ：8題
- ・研究室別研究：6題

5. その他の活動

ア. 体力研究107号の刊行

イ. 研究助成論文集「健康医科学」の刊行

ウ. 体力医学研究所ホームページによる情報提供

〔研究助成〕

第26回健康医科学研究助成の公募を平成21年6月から10月にかけて実施した。大学および各研究機関などから136件の応募があり、選考委員による個別審査を基に選考委員会を開催し、厳正な審査を経て次表の15件を選出した。

平成22年3月15日に明治安田生命本社にて後援団体、選考委員、受贈者の出席を得て助成金贈呈式を行った。助成金額は一律100万円（総額1,500万円）である。

なお、これまでの助成対象研究は467件、4億6,650万円に達した。また、前年度研究助成の成果を第25回健康医科学研究助成論文集として発行した。さらに、第25回論文集の中から優秀賞1件を選定した。

第26回（平成21年度）健康医科学研究助成受贈者一覧

（五十音順・敬称略）

氏 名 (共同研究者数)	所 属	研 究 テ ー マ
浅岡 章一 (4人)	財団法人神経研究所 研究部	睡眠、運動習慣、食生活が交替制勤務に従事する看護師の肥満傾向と生活の質（Quality of Life：QOL）に与える影響
伊藤 守弘 (3人)	中部大学 生命健康科学部	医療用弾性ストッキングによる下肢圧迫が運動時の心肺機能及び筋酸素動態に及ぼす影響
大上 安奈 (2人)	日本女子体育大学 附属基礎体力研究所	セントラルコマンドが運動に伴う非活動肢の静脈血管収縮に及ぼす影響
岡本 美香子 (2人)	東京大学大学院 母性看護学・助産学分野	分娩後の腹圧性尿失禁予防を目的とした骨盤底筋群機能回復支援の開発と効果検証 -ランダム化比較試験-
木村 哲也	京都大学 人間・環境学研究科	立位バランス制御機構に対する自律神経系の関与 -加齢にともなう自律神経活動低下の影響-
齋藤 義信 (1人)	慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科	中高年者における日常身体活動および健康関連指標と環境要因との関係 -藤沢市における検討-
鈴木 宏幸 (2人)	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム	高齢者の自己認識能力低下は心身機能低下・転倒発生を予測するか
田中 千晶 (1人)	桜美林大学 健康福祉学群	勤労者における身体活動支援環境に関する研究
寺田 和史 (1人)	天理大学 体育学部	徒手マッサージによるセルフケアを加えた監視・非監視併用型の健康づくりトレーニングの効果
土居 裕和	長崎大学 医学部	運動は小学生の認知能力・脳活動向上に役立つか？ -脳計測と日中運動量測定による検討-
西脇 雅人 (5人)	熊本県立大学 環境共生学部	低酸素環境下での片脚運動、および片脚運動トレーニングが動脈ステイフネスと血管内皮機能に及ぼす影響 -運動脚と対照脚における血管の応答、および適応-
増田 和実 (5人)	金沢大学 人間科学系	カルニチンの細胞内輸送の促進が骨格筋の持久性能に及ぼす影響
松尾 知明 (1人)	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	減量後の長期体重管理に影響を及ぼす要因の探索とリバウンド防止効果について -内臓脂肪の変動と遺伝子多型に着目して-
松村 健太	国立精神・神経センター 成人精神保健部	精神的ストレス負荷時の心臓血管系反応と動脈の硬さの関係
吉武 康栄 (2人)	鹿屋体育大学 体育学部	力発揮に対する力量感覚の加齢変化と筋力トレーニングによる効果の解明

（以上15件、一律100万円を助成。なお、所属は応募当時のものを記載）

[ウェルネス・サポート・コンサルタント業務]

1. 健康・体力づくり実践指導活動 総開催数 630回
総参加人数7,053人

- ア. 健康づくり支援
 - ・「健康支援室」 開催数 258回、参加人数4,170人
 - ・「支援アドバイス」 開催数 95回、参加人数1,456人
(生活チェック、生活改善サポート)
 - ・「健康づくり相談」 開催数 27回、参加人数 31人
- イ. 健康度測定・指導
 - ・「運動健診」 開催数 93回、参加人数 284人
- ウ. 運動実践プログラム
 - ・「MYヘルスプログラム」 開催数 82回、参加人数 915人
 - ・「ヘルスアップMYレージ」 登録者 32人、
イベント開催数 7回、参加人数 33人
- エ. 健康づくりイベント 開催数 26回、参加人数 105人
- オ. 特定保健指導 開催数 5回、参加人数 6人
- カ. その他 開催数 37回、参加人数 53人

2. 健康づくりコンサルタント活動 総開催数 9回
総参加人数 492人

- ア. 行政への保健事業の支援 開催数 3回、参加人数 66人
- イ. 企業、団体、機関などへの健康づくりに関する支援 開催数 3回、参加人数 224人
- ウ. 明治安田生命の支社活動への健康づくりに関する支援 開催数 3回、参加人数 202人

〔総合健診業務〕

平成21年度における健診概況等は次のとおりである。

1. 男女別・年齢階層別受診者数

	男		女		計	
	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)
60歳以上	1,920	24.6	1,541	20.7	3,461	22.7
50～59歳	1,944	24.9	1,907	25.6	3,851	25.2
40～49歳	2,316	29.7	2,200	29.5	4,516	29.6
35～39歳	1,015	13.0	949	12.7	1,964	12.9
30～34歳	416	5.3	529	7.1	945	6.2
29歳以下	198	2.5	331	4.4	529	3.4
合 計	7,809	100.0	7,457	100.0	15,266	100.0

- (1) 総受診者数15,266人で前年度より23人増加
- (2) 男女別の占率は、男性51.2%、女性48.8%で、前年度に比較し男性は498人減少したのに対し、女性は521人増加（前年度比3.3%増）
- (3) 年齢別では34歳以下の受診者数が1,474人（占率9.6%）と、前年度比4.3%増加

2. その他受診者に関する事項

- (1) 一般と団体との占率
一般が953人（6.2%）、団体が14,313人（93.8%）で、前年度に引き続き団体中心の受診者構成
- (2) 反復受診率
反復受診率は77.7%で、前年度より1.9%増加。新規受診者は3,401人と前年度に比較し293人減少
- (3) 二次検査受診者数
二次検査は、胃部内視鏡検査57人、胸部X線検査64人等で、合計338人
- (4) 婦人科検査受診率
婦人科検査受診者数は5,348人（受診率71.7%）と、前年度より131人増加
- (5) 乳房検査受診率
乳房専門医による視触診と画像診断（エコー、マンモグラフィ）により実施。受診者数は5,912人（受診率79.3%）で前年度より95人増加

3. 検査結果状況

健診結果の検査対象疾患別判定の占率状況は、次表のとおりである。

なお、「精密検査が必要」と判定された占率が最も高率に認められた疾患は男性（8.0%）、女性（5.4%）とも眼科であった。

また、生活習慣病といわれる肥満、高コレステロール血症、高中性脂肪血症、肝機能障害、耐糖能障害は、男女差はあるものの「C」判定が多く、食事、運動を中心とした生活習慣の影響が示唆された。

検査対象疾患別判定占率一覧表

単位：％

疾患名	検査方法	性別	判定区分				癌の発見数
			C	D1	D2	E	
肥満(過体重)	身体測定	男女	65.1	0.0	0.0	0.0	
			54.1	0.0	0.0	0.0	
呼吸器疾患	胸部X線	男女	36.8	0.0	2.0	0.7	肺癌 6
			30.3	0.0	1.8	0.4	
高血圧	血圧測定	男女	13.4	0.2	0.0	6.0	
			5.9	0.1	0.0	2.4	
高コレステロール	血液生化学	男女	14.5	1.9	0.0	1.0	
			14.7	1.8	0.0	1.1	
高中性脂肪	血液生化学	男女	19.4	2.3	0.0	2.6	
			4.1	0.6	0.0	1.1	
高尿酸	血液生化学	男女	18.8	3.5	0.0	1.9	
			1.2	0.3	0.0	0.0	
心電図異常	心電図	男女	22.4	0.1	3.0	0.8	
			9.6	0.0	1.6	0.1	
腎・尿路疾患	腹部超音波 尿検査	男女	28.5	0.0	3.5	0.3	腎臓癌 2
			40.8	0.0	4.6	0.2	
食道・胃疾患	胃部X線 胃内視鏡	男女	9.6	0.2	5.8	0.0	胃癌 14 食道癌 1
			13.3	0.1	5.3	0.0	
十二指腸疾患	胃部X線	男女	3.2	0.1	0.2	0.0	
			1.2	0.1	0.1	0.0	
胆石・胆のうポリープ	腹部超音波	男女	19.8	0.0	0.4	0.0	
			12.6	0.0	0.3	0.0	
肝機能障害(脂肪肝含)	血液生化学	男女	51.0	0.0	1.3	0.7	
			22.1	0.0	0.7	0.2	
糖尿病(耐糖能障害)	血液生化学	男女	16.0	3.5	1.8	4.3	
			12.2	0.8	1.3	1.1	
眼科	眼底・眼圧	男女	19.3	0.1	8.0	3.8	
			13.4	0.0	5.4	3.0	
肛門・大腸疾患	便潜血反応	男女	0.0	0.0	6.7	0.0	大腸癌 16
			0.4	0.0	4.1	0.0	
前立腺疾患	PSA検査	男女	0.0	0.0	1.9	0.0	前立腺癌 4
			—	—	—	—	
婦人科	婦人科	男女	—	—	—	—	子宮癌 2
			11.2	1.7	3.0	0.5	
乳房疾患	触診・超音波 マンモグラフィ	男女	—	—	—	—	乳癌 7
			2.1	0.0	0.4	0.0	
その他の疾患		男女	9.2	0.0	0.9	0.3	その他の癌 2
			8.3	0.0	1.4	0.5	

(注) 1. 疾患別判定占率(%)は、総受診者数に対する割合。ただし、腹部エコー検査(受診率92.3%)、PSA検査(受診率40.7%)、婦人科検査(受診率71.7%)、および乳房検査(受診率79.3%)はそれぞれの受診者数に対する割合

2. 判定区分 (平成16年度より日本人間ドック学会に準拠)

C:生活習慣の改善ならびに経過観察が必要

D1:治療が必要 D2:精密検査が必要

E:継続治療

3. その他の癌は甲状腺癌、胆管癌

Ⅲ 評議員会に関する事項

1. 平成21年6月12日（金曜日）午後5時00分、東京都千代田区丸の内2-3-1、三菱クラブにおいて、平成21年度評議員会を開催。

会 議 の 目 的 事 項

- 第1号議案 理事選任の件
- 第2号報告 評議員委嘱の件
- 第3号報告 体力医学研究の概要報告の件
—「運動とメンタルヘルス」の研究計画概要—
- 第4号報告 平成20年度健診センター事業部門報告および決算の件
- 第5号報告 平成21年度健診センター事業部門計画および予算の件
- 第6号報告 「高齢者の心身の健康づくりのための運動プログラムの開発」報告の件

総評議員数および出席評議員数

- (1) 総評議員数 11人
- (2) 出席評議員数 11人（うち委任状によるもの1人）

議 事

1. 寄付行為第31条の規定に従って、評議員互選により評議員柴田博氏を議長に選任し、寄付行為第32条の規定に従い、評議員仲村英一氏および評議員浅見高明氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
2. 議長は、第1号議案「理事選任の件」を上議し、以下の審議を求めたところ全員異議なくこれを承認可決した。
 - ・任期満了者と再任
葉狩浩一氏、香川芳子氏、芝山秀太郎氏
 - ・辞任者
山田百郎氏、西山千秋氏
 - ・新任者
高井邦美氏、福島幸彦氏
3. 議長は、第2号報告「評議員委嘱の件」を上議し、平成21年度の評議員の名簿を配付して理事会で議決される評議員異動の内容を報告した。
4. 議長は、第3号報告「体力医学研究の概要報告の件」につき、担当の体力医学研究所永松所長を指名し、「運動とメンタルヘルス」の研究計画の概要について報告を求めた。
5. 議長は、第4号報告「平成20年度健診センター事業部門報告および決算の件」を上議し、当事業団の業績は、順調に伸展して所期の成果をあげた旨報告し、併せて、各部門別に主要業績を列挙して報告した。

また、決算についても、議長は、正味財産増減計算書等決算関係諸表を配付し主要事項につき報告を行った。
6. 議長は、第5号報告「平成21年度健診センター事業部門計画および予算の件」を上議し、

平成21年度の事業計画および予算の概要について報告した。

7. 最後に議長は、第6号報告「高齢者の心身の健康づくりのための運動プログラムの開発」報告の件につき、体力医学研究所北畠研究員を指名し説明を求めた。

以上をもって議事を終了したので、午後5時30分、議長は閉会を宣言した。

IV 理事会に関する事項

1. 平成21年6月12日（金曜日）午後5時30分、東京都千代田区丸の内2-3-1、三菱クラブにおいて、平成21年度理事会を開催。

会 議 の 目 的 事 項

議案

- 第1号議案 評議員委嘱の件
- 第2号議案 体力医学研究の概要の件
—「運動とメンタルヘルス」の研究計画概要—
- 第3号議案 平成20年度健診センター事業部門報告および決算承認の件
- 第4号議案 平成21年度健診センター事業部門計画および予算決定の件
- 第5号報告 理事選任の件
- 第6号報告 「高齢者の心身の健康づくりのための運動プログラムの開発」報告の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 12人
- (2) 出席理事数 12人（うち委任状によるもの3人）

議 事

1. 開会に先立ち、事務局より、現在の総理事数12人のうち、本日の出席理事数は12人であり、寄付行為第22条並びに第24条の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨、議場に報告した。
2. 理事長葉狩浩一氏は、寄付行為第21条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣言した後、寄付行為第26条の規定に従って、理事貴島政邑氏および理事福島幸彦氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを受諾した。
3. 議長は、第1号議案「評議員委嘱の件」を上議し、以下の審議を求めたところ全員異議なくこれを承認可決した。
 - ・任期满了者と再任
波多健治郎氏、大島雄次氏
4. 議長は、第2号議案体力医学研究の概要につき、担当の体力医学研究所永松所長を指名し説明を求めた。
5. 議長は、第3号議案「平成20年度健診センター部門報告および決算承認の件」を上議し、まず平成20年度事業報告につき、各部門別に主要業績を列挙して報告するとともに、事業団全体を通じ、順調に進展して所期の成果をあげることが出来た旨の説明を行った。質疑応答を行い原案どおり承認された。
 - 次に、平成20年度決算に関し、議長は、貸借対照表、正味財産増減計算書、事業費明細書および財産目録等の各案を各理事に配布し、主要事項につき説明を行った。
 - 引きつづき監事内海郁夫氏は、これらの諸表を厳正に監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めた旨、議場に報告した。

議長は各理事に審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決された。

6. 議長は、第4号議案「平成21年度健診センター部門計画および予算決定の件」を上議し、平成21年度の事業計画の概要について報告を行った。質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決された。

次に、平成21年度予算に関し、議長は、新年度開始以前に理事会を開催することができなかったため、本年度4月以降経常収支のみ暫定予算を実施し、前年度予算に準じて収入・支出した旨を述べて了承を求め、次いで予算案を配布して、収入、支出部および収支差額等主要事項を中心に説明を行った。

7. 議長は、第5報告「理事選任の件」を上議し、評議員会で議決された異動の内容を次のとおり説明した。

・任期満了者と再任

葉狩浩一氏、香川芳子氏、芝山秀太郎氏

・辞任者

山田百郎氏、西山千秋氏

・新任者

高井邦美氏、福島幸彦氏

8. 最後に議長は、第6号報告「高齢者の心身の健康づくりのための運動プログラムの開発」報告の件につき、体力医学研究所北畠研究員を指名し説明を求めた。

以上をもって議事を終了したので、午後6時、議長は閉会を宣した。

V 出版に関する事項

平成21年度刊行物一覧

刊行物名	号数(タイトル)	刊行月	部数
体力研究	No.107	平成21年4月	1,000部
健康医科学	第25回健康医科学 研究助成論文集	平成22年3月	1,300部

VI 寄付に関する事項

平成21年度は、明治安田生命保険相互会社から下記のように寄付をいただいた。

(受領年月日順に掲載)

受領年月日	寄付者	金額
平成21年5月19日	明治安田生命保険相互会社	(円) 100,000,000
平成21年9月10日	明治安田生命保険相互会社	100,000,000
平成22年1月12日	明治安田生命保険相互会社	76,000,000

I 貸借対照表

II 正味財産増減計算書
(事業費明細書)

III 財産目録

I 貸借対照表総括表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	141,219,603	129,825,005	11,394,598
前払金	12,950,261	4,026,327	8,923,934
未収金	59,413,714	0	59,413,714
貯蔵品	3,672,673	0	3,672,673
流動資産合計	217,256,251	133,851,332	83,404,919
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	70,000,000	70,000,000	0
定期預金基本	180,000,000	180,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	74,985,245	51,985,245	23,000,000
機器購入積立預金	123,435,417	42,595,029	80,840,388
50周年記念積立預金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	202,420,662	98,580,274	103,840,388
その他の固定資産			
建物附属設備	24,818,438	8,605,626	16,212,812
器具備品	152,841,694	41,358,539	111,483,155
電話加入権	863,700	863,700	0
元入金	0	108,263,437	△ 108,263,437
その他の資産合計	178,523,832	159,091,302	19,432,530
無形固定資産			
ソフトウェア	9,083,339	2,702,420	6,380,919
無形固定資産合計	9,083,339	2,702,420	6,380,919
固定資産合計	640,027,833	510,373,996	129,653,837
資産合計	857,284,084	644,225,328	213,058,756
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	5,228,278	5,228,278	0
未払金	48,536,071	28,781,452	19,754,619
未払法人税等	8,207,900	50,000	8,157,900
流動負債合計	61,972,249	34,059,730	27,912,519
2. 固定負債			
退職給付引当金	57,850,795	30,530,412	27,320,383
固定負債合計	57,850,795	30,530,412	27,320,383
負債合計	119,823,044	64,590,142	55,232,902
III 正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産 (うち基本財産への充当額)	737,461,040 (250,000,000)	579,635,186 (250,000,000)	157,825,854 (0)
正味財産合計	737,461,040	579,635,186	157,825,854
負債・正味財産	857,284,084	644,225,328	213,058,756

貸借対照表（一般事業）

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	129,825,005	90,192,982	39,632,023
前払金	4,026,327	4,026,327	0
未収金	0	0	0
流動資産合計	133,851,332	94,219,309	39,632,023
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	70,000,000	70,000,000	0
定期預金基本	180,000,000	180,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	51,985,245	51,985,245	0
機器購入積立預金	42,595,029	46,975,029	△ 4,380,000
50周年記念積立預金	4,000,000	0	4,000,000
特定資産合計	98,580,274	98,960,274	△ 380,000
その他の固定資産			
建物附属設備	8,605,626	9,680,373	△ 1,074,747
器具備品	41,358,539	17,362,226	23,996,313
電話加入権	863,700	863,700	0
元入金	108,263,437	137,853,482	△ 29,590,045
その他の資産合計	159,091,302	165,759,781	△ 6,668,479
無形固定資産			
ソフトウェア	2,702,420	2,087,268	615,152
無形固定資産合計	2,702,420	2,087,268	615,152
固定資産合計	510,373,996	516,807,323	△ 6,433,327
資産合計	644,225,328	611,026,632	33,198,696
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	5,228,278	5,147,876	80,402
未払金	28,781,452	1,105,893	27,675,559
未払法人税等	50,000	50,000	0
流動負債合計	34,059,730	6,303,769	27,755,961
2. 固定負債			
退職給付引当金	30,530,412	26,174,659	4,355,753
固定負債合計	30,530,412	26,174,659	4,355,753
負債合計	64,590,142	32,478,428	32,111,714
III 正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	579,635,186	578,548,204	1,086,982
(うち基本財産への充当額)	(250,000,000)	(250,000,000)	(0)
正味財産合計	579,635,186	578,548,204	1,086,982
負債・正味財産	644,225,328	611,026,632	33,198,696

貸借対照表(特別事業)

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,394,598	13,035,801	△ 1,641,203
前払金	8,923,934	7,283,934	1,640,000
未収金	59,413,714	84,124,527	△ 24,710,813
貯蔵品	3,672,673	6,006,658	△ 2,333,985
流動資産合計	83,404,919	110,450,920	△ 27,046,001
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当預金	23,000,000	23,000,000	0
機器購入積立預金	80,840,388	60,840,388	20,000,000
特定資産合計	103,840,388	83,840,388	20,000,000
その他の固定資産			
建物附属設備	16,212,812	7,218,351	8,994,461
器具備品	111,483,155	127,225,110	△ 15,741,955
元入金	△ 108,263,437	△ 137,853,482	29,590,045
その他の資産合計	19,432,530	△ 3,410,021	22,842,551
無形固定資産			
ソフトウェア	6,380,919	5,531,485	849,434
無形固定資産合計	6,380,919	5,531,485	849,434
固定資産合計	129,653,837	85,961,852	43,691,985
資産合計	213,058,756	196,412,772	16,645,984
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0	0	0
未払金	19,754,619	20,859,879	△ 1,105,260
未払法人税等	8,157,900	6,494,900	1,663,000
流動負債合計	27,912,519	27,354,779	557,740
2. 固定負債			
退職給付引当金	27,320,383	24,821,764	2,498,619
固定負債合計	27,320,383	24,821,764	2,498,619
負債合計	55,232,902	52,176,543	3,056,359
III 正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	157,825,854	144,236,229	13,589,625
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	157,825,854	144,236,229	13,589,625
負債・正味財産	213,058,756	196,412,772	16,645,984

Ⅱ 正味財産増減計算書総括表

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	571,918	571,918	0
運用財産運用収入	131,504	87,277	44,227
寄付金収入	276,000,000	276,000,000	0
ウエルネス事業収入	1,241,576	1,241,576	0
健診事業収入	645,993,128	0	645,993,128
雑収入	9,009,739	697,037	8,312,702
経常収益計	932,947,865	278,597,808	654,350,057
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	105,603,713	105,603,713	0
研究助成事業費	32,418,202	32,418,202	0
ウエルネス事業費	51,515,488	51,515,488	0
管理費	87,261,543	87,261,543	0
健診事業費	632,543,914	0	632,543,914
経常費用計	909,342,860	276,798,946	632,543,914
当期経常増減額	23,605,005	1,798,862	21,806,143
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	720,498	661,880	58,618
経常外費用計	720,498	661,880	58,618
当期経常外増減額	△ 720,498	△ 661,880	△ 58,618
税引前当期一般正味財産増減額	22,884,507	1,136,982	21,747,525
法人税、住民税及び事業税	8,207,900	50,000	8,157,900
当期一般正味財産増減	14,676,607	1,086,982	13,589,625
一般正味財産期首残高	722,784,433	578,548,204	144,236,229
一般正味財産期末残高	737,461,040	579,635,186	157,825,854
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	737,461,040	579,635,186	157,825,854

正味財産増減計算書(一般事業)

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	571,918	827,679	△ 255,761
運用財産運用収入	87,277	301,802	△ 214,525
寄付金収入	276,000,000	280,000,000	△ 4,000,000
ウェルネス事業収入	1,241,576	2,525,003	△ 1,283,427
雑収入	697,037	498,604	198,433
経常収益計	278,597,808	284,153,088	△ 5,555,280
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	105,603,713	109,577,200	△ 3,973,487
研究助成事業費	32,418,202	32,436,418	△ 18,216
ウェルネス事業費	51,515,488	51,436,628	78,860
事業費計	189,537,403	193,450,246	△ 3,912,843
管理費			
管理費	87,261,543	93,508,117	△ 6,246,574
管理費計	87,261,543	93,508,117	△ 6,246,574
経常費用計	276,798,946	286,958,363	△ 10,159,417
当期経常増減額	1,798,862	△ 2,805,275	4,604,137
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	661,880	2,058,362	△ 1,396,482
経常外費用計	661,880	2,058,362	△ 1,396,482
当期経常外増減額	△ 661,880	△ 2,058,362	1,396,482
税引前当期一般正味財産増減額	1,136,982	△ 4,863,637	6,000,619
法人税、住民税及び事業税	50,000	50,000	0
当期一般正味財産増減	1,086,982	△ 4,913,637	6,000,619
一般正味財産期首残高	578,548,204	583,461,841	△ 4,913,637
一般正味財産期末残高	579,635,186	578,548,204	1,086,982
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	579,635,186	578,548,204	1,086,982

事業費及び管理費明細書(一般事業)

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 体力研究事業費	105,603,713	Ⅲ ウェルネス事業費	51,515,488
1. 人 件 費	66,598,862	1. 人 件 費	29,003,393
役 職 員 給 料	56,733,618	役 職 員 給 料	25,035,719
法 定 福 利 費	7,766,621	法 定 福 利 費	3,263,728
法 定 外 福 利 費	2,098,623	法 定 外 福 利 費	703,946
2. 研 究 費	39,004,851	2. 事 業 費	22,512,095
旅 費 交 通 費	1,887,649	開 発 調 査 費	2,490,333
通 信 費	1,151,744	賃 借 料	8,478,048
印 刷 費	1,398,646	不 動 産 管 理 費	5,015,760
備 品 消 耗 品 費	1,149,781	通 信 印 刷 費	731,335
図 書 購 入 費	2,128,984	備 品 消 耗 品 費	1,143,850
材 料 費	32,864	フ ィ ッ ト ネ ス 費	705,769
医 薬 品 費	142,500	減 価 償 却 費	2,348,676
研 究 調 査 費	841,748	そ の 他 費 用	1,598,324
研 究 諸 費	2,184,842	事 業 費 合 計	189,537,403
光 熱 水 費	1,835,067	Ⅳ 管理費	87,261,543
賃 借 料	17,135,640	1. 人 件 費	37,552,513
不 動 産 管 理 費	4,980,064	役 職 員 給 料	24,495,821
機 器 保 守 管 理 費	1,496,381	法 定 福 利 費	3,784,114
リ ー ス 料	1,071,750	法 定 外 福 利 費	1,402,359
減 価 償 却 費	946,059	派 遣 経 費	3,514,466
そ の 他 費 用	621,132	退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	4,355,753
Ⅱ 研究助成事業費	32,418,202	2. 事 務 費	49,709,030
1. 助 成 金	15,000,000	会 議 費	1,611,453
研 究 助 成 金	15,000,000	賃 借 料	9,624,424
2. 事 務 費	5,418,202	不 動 産 管 理 費	5,851,716
論 文 集 刊 行 費	2,128,941	リ ー ス 料	1,365,368
事 務 費	3,189,261	光 熱 水 費	382,533
学 会 等 賛 助 金	100,000	通 信 印 刷 費	1,365,600
3. 寄 付 金	12,000,000	調 査 ・ 諸 謝 金	2,431,060
指 定 寄 付 金	12,000,000	備 品 消 耗 品 費	1,256,299
		シ ス テ ム 関 係 費	8,046,408
		減 価 償 却 費	7,992,992
		租 税 公 課	6,785,086
		そ の 他 費 用	2,996,091
		事 業 費 及 び 管 理 費 合 計	276,798,946

正味財産増減計算書(特別事業)

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
運用財産運用収入	44,227	139,878	△ 95,651
健診事業収入	645,993,128	662,744,286	△ 16,751,158
雑収入	8,312,702	0	8,312,702
経常収益計	654,350,057	662,884,164	△ 8,534,107
(2) 経常費用			
事業費			
健診事業費	632,543,914	637,849,247	△ 5,305,333
事業費計	632,543,914	637,849,247	△ 5,305,333
経常費用計	632,543,914	637,849,247	△ 5,305,333
当期経常増減額	21,806,143	25,034,917	△ 3,228,774
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	58,618	662,452	△ 603,834
経常外費用計	58,618	662,452	△ 603,834
当期経常外増減額	△ 58,618	△ 662,452	603,834
税引前当期一般正味財産増減額	21,747,525	24,372,465	△ 2,624,940
法人税、住民税及び事業税	8,157,900	6,494,900	1,663,000
当期一般正味財産増減	13,589,625	17,877,565	△ 4,287,940
一般正味財産期首残高	144,236,229	126,358,664	17,877,565
一般正味財産期末残高	157,825,854	144,236,229	13,589,625
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	157,825,854	144,236,229	13,589,625

事業費明細書(特別事業)

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
健 診 事 業 費	632,543,914
1. 人 件 費	351,274,637
役 職 員 給 料	301,921,452
法 定 福 利 費	24,998,488
法 定 外 福 利 費	7,874,251
派 遣 経 費	13,981,827
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	2,498,619
2. 健 診 費	281,269,277
医 薬 品 費	42,601,079
材 料 費	12,599,812
備 品 消 耗 品 費	8,167,626
修 繕 費	10,479,867
機 器 保 守 契 約 費	12,416,782
通 信 費	14,523,081
印 刷 費	5,036,697
業 務 開 拓 費	11,163,656
研 究 助 成 費	5,145,037
リ ー ス 料	9,853,728
賃 借 料	53,268,504
不 動 産 管 理 費	30,930,457
光 熱 水 費	6,594,883
嘱 託 医 関 係 費	825,515
シ ス テ ム 関 係 費	14,096,947
減 価 償 却 費	36,059,500
租 税 公 課	1,771,200
そ の 他 費 用	5,734,906
特 別 事 業 費 合 計	632,543,914

計 算 書 類 に 関 す る 注 記

1. この計算書類は「新公益法人会計基準」によって作成されております。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は定額法によっております。

(2) 退職給付引当金の計上基準

自己都合による期末要支給額に基づいて計上しております。

(3) 消費税等会計処理について

税抜き処理によっております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	70,000,000	0	0	70,000,000
定期預金	180,000,000	0	0	180,000,000
小 計	250,000,000	0	0	250,000,000
特定資産				
退職給付引当金	74,985,245	0	0	74,985,245
機器購入積立預金	107,815,417	20,000,000	4,380,000	123,435,417
50周年記念積立預金	0	4,000,000	0	4,000,000
小 計	182,800,662	24,000,000	4,380,000	202,420,662
合 計	432,800,662	24,000,000	4,380,000	452,420,662

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建物附属設備	37,358,642	12,540,204	24,818,438
器具備品	359,016,793	206,175,099	152,841,694
小 計	396,375,435	218,715,303	177,660,132
ソフトウェア	17,664,065		9,083,339
合 計	414,039,500	218,715,303	186,743,471

5. リース料

	1年以内	1年超	合 計
	円	円	円
未経過リース料期末残高相当額	12,464,278	26,744,582	39,208,860

Ⅲ 財 産 目 録

平成22年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
I 資 産 の 部		
1. 流 動 資 産		
現金預金	826,869	
現普通預金	140,392,734	
未収金		
健診料	59,413,714	
前払金	12,950,261	
貯蔵品		
材料	857,425	
医薬品	2,815,248	
流動資産合計		217,256,251
2. 固 定 資 産		
(1)基本財産		
普通預金	70,000,000	
定期預金	180,000,000	
基本財産合計	250,000,000	
(2)その他の固定資産		
建物附属設備	24,818,438	
器具備品	152,841,694	
電話加入権	863,700	
退職給付引当預金	74,985,245	
機器購入積立預金	123,435,417	
50周年記念積立預金	4,000,000	
その他の固定資産合計	380,944,494	
(3)無形固定資産		
ソフトウェア	9,083,339	
無形固定資産合計	9,083,339	
固定資産合計		640,027,833
資 産 合 計		857,284,084
Ⅱ 負 債 の 部		
1. 流 動 負 債		
未払金(健診事業費等)	48,536,071	
未払法人税等	8,207,900	
預り金(所得税住民税等)	5,228,278	
流動負債合計		61,972,249
2. 固 定 負 債		
退職給付引当金	57,850,795	
固定負債合計		57,850,795
負 債 合 計		119,823,044
正 味 財 産		737,461,040

以上のとおり相違ありません。

平成22年 6月11日

財団法人 明治安田厚生事業団

理事長	葉狩浩一	理事	宮坂信之
理事	黒田善雄	理事	加賀谷淳子
理事	香川芳子	理事	馬詰良樹
理事	芝山秀太郎	理事	貴島政邑
理事	佐藤安弘	理事	高井邦美
理事	蔵本博行	理事	福島幸彦

以上調査の結果、法令および寄付行為にもとづき正確であることを認めます。

平成22年 6月11日

監事 内海郁夫

独立監査人の監査報告書

平成22年 4 月23日

財団法人 明治安田厚生事業団

理事長 葉 狩 浩 一 殿

川上公認会計士事務所

公認会計士 川上 泰江 

白子公認会計士事務所

公認会計士 白子 和幸 

私たちは、財団法人明治安田厚生事業団の平成21年 4 月 1 日から平成22年 3 月31日までの第48期事業年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

記

I 財務諸表

1. 一般事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. 特別事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
3. 貸借対照表総括表
4. 正味財産増減計算書総括表
5. 財産目録

II 収支計算書

1. 一般事業会計の収支計算書
2. 特別事業会計の収支計算書
3. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私たちの責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私たちは、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私たちの意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人明治安田厚生事業団の第48期事業年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年 3 月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人明治安田厚生事業団の第48期事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人明治安田厚生事業団と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

役員名簿

(平成22年6月11日現在)

理事長	葉狩浩一	
理事	黒田善雄	東京大学名誉教授
理事	香川芳子	女子栄養大学学長
理事	芝山秀太郎	鹿屋体育大学名誉教授
理事	佐藤安弘	キリンホールディングス株式会社名誉相談役
理事	蔵本博行	北里大学名誉教授
理事	宮坂信之	東京医科歯科大学教授
理事	加賀谷淳子	日本女子体育大学名誉教授
理事	馬詰良樹	東京慈恵会医科大学名誉教授
理事	貴島政邑	
理事	高井邦美	
理事	福島幸彦	
監事	内海郁夫	明治安田生命保険相互会社元関連事業部長

評 議 員 名 簿

(平成22年 6 月11日現在)

仲 村 英 一	元結核予防会理事長
浅 見 高 明	筑波大学名誉教授
柴 田 博	人間総合科学大学大学院教授
菅 原 弘 子	福祉自治体ユニット事務局長
波 多 健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
大 島 雄 次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
下 門 顯太郎	東京医科歯科大学教授
上 坊 敏 子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長
江 橋 博	東亜大学大学院教授
内 田 賢	東京慈恵会医科大学教授
三 好 裕 司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長

平成 22 年 度 役 員 名 簿

理 事 長	米 田 克 巳	
理 事	栗 原 敏	学校法人慈恵大学理事長・東京慈恵会医科大学学長
理 事	香 川 芳 子	女子栄養大学学長
理 事	芝 山 秀太郎	鹿屋体育大学名誉教授
理 事	佐 藤 安 弘	キリンホールディングス株式会社名誉相談役
理 事	蔵 本 博 行	北里大学名誉教授
理 事	宮 坂 信 之	東京医科歯科大学教授
理 事	加賀谷 淳 子	日本女子体育大学名誉教授
理 事	馬 詰 良 樹	東京慈恵会医科大学名誉教授
理 事	貴 島 政 邑	
理 事	高 井 邦 美	
理 事	福 島 幸 彦	
監 事	富 林 和 雄	明治安田生命保険相互会社関連事業部長
監 事	永 田 誠	明治安田生命保険相互会社監査委員会事務局審議役

平成22年度評議員名簿

仲村英一	元結核予防会理事長
浅見高明	筑波大学名誉教授
柴田博	人間総合科学大学大学院教授
菅原弘子	福祉自治体ユニット事務局長
波多健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
大島雄次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
下門顯太郎	東京医科歯科大学教授
上坊敏子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長
江橋博	東亜大学大学院教授
内田賢	東京慈恵会医科大学教授
三好裕司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長